

空き店舗を活用し、障がい者・高齢者・地域住民等の憩いと交流の場を提供。誰もが快適に暮らせる「ひとにやさしい商店街」を目指す。

徳山商工会議所（TMO徳山）

機関名	徳山商工会議所（TMO徳山）		
所在地	山口県周南市栄町2-15		
電話番号	0834-31-3000		
地域概要	(1)管内人口 156千人	(2)管内商店街数 8商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 6	(2)会員数 414商店	
	(3)空き店舗率 11.6%	(4)大型店空き店舗数 0	
	徳山銀座商店街振興組合 他5商店街		
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成16年度 コミュニティ施設活用事業（高齢者等交流施設）

- ・障がい者、高齢者、地域住民等の交流事業
- ・軽食・喫茶事業
- ・障がい者、高齢者等の相談窓口

総事業費 6,000千円

【事業実施内容】

1. 背景

周南市は、山口県の東南部に位置し、北に中国山地を背に、南に瀬戸内海を望み、その海岸線に沿って大規模工業が立地し、それに接して東西に比較的幅の狭い市街地が続いている。北側には、なだらかな丘陵地が広がり、その背後の広大な山稜には農山村地帯が散在している。また、島しょ部は、瀬戸内海国立公園区域にも指定されており、美しい自然景観を有している。



周南市位置図（周南市HPより）

中心市街地を取り巻く環境は年々厳しくなっている。小売業、サービス業以外の新たな機能（特に、福祉・コミュニティ分野）を導入し研究することがより重要となっている。そこで、市民活動グループ「周南精神障害者の地域生活を支える会」が、コミュニティ施設『ふくふく』をオープンさせた。精神に障がいのある人たちの支援、地域社会との交流を進める拠点として期待されている。

2. 事業内容

誰もが安心して快適に暮らし、活動できる「ひとにやさしい商店街」を目指し、空き店舗を有効活用し、商店街に新たな機能を導入する実験的事業として平成16年10月30日にコミュニティ施設「ふくふく」をオープンした。

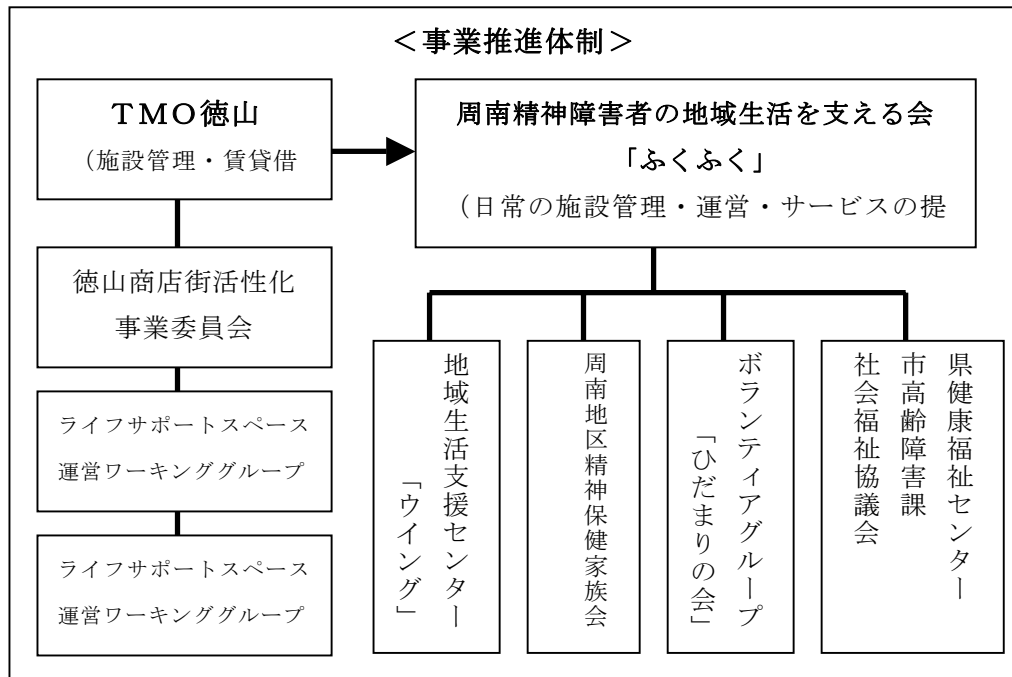


「ふくふく」の外観

(1) 施設概要

- ①名称：ふくふく
- ②所在地：山陽本線平和通2-31三真樹ビル1F
(徳山銀座商店街内)
- ③運営体制

「周南精神障害者の地域生活を支える会 ふくふく」が精神保健家族会、ボランティアグループ、社会福祉協議会等の協力を得て運営している。



④施設面積：約 39 m²

⑤開所日及び時間：週3日（月・水・土） AM10:00～PM15:00

⑥施設内容

1) 憩いの場

- ・気軽に立寄り、障がい者、高齢者、地域住民等の憩いと交流の場を提供する。
- ・日常生活の諸問題の相談の場を提供する。

2) 軽食・喫茶

- ・障がい者等の生活支援（食事等の提供）
- ・喫茶内にサロン（休憩所）を設置した。
- ・飲食料金：フード類 450～550円
ドリンク類 100～300円



「ふくふく」のメニュー

＜軽食・喫茶及び軽食喫茶内のサロン 平成16年度利用者数＞

月	利用者総数	うち障害者手帳保持者	うちサロンのみの利用者
11月	219名	32名	13名
12月	148名	28名	9名
1月	170名	31名	0名
2月	157名	39名	0名
3月	191名	30名	11名
合計	885名	160名	33名

(2) 事業期間

平成16年10月30日 ～ 平成17年3月31日

(3) 事業概要

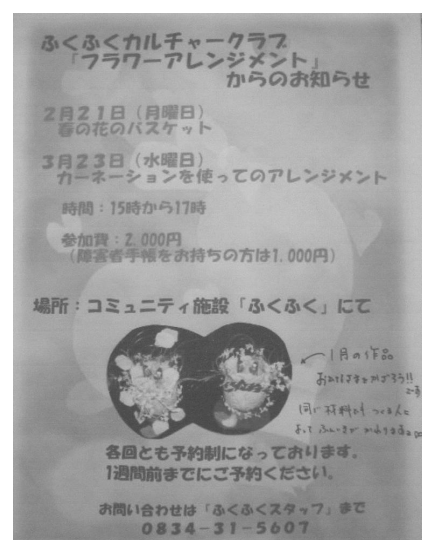
- ①障がい者等の生活支援
- ②障がい者、高齢者、地域住民等の交流事業
- ③イベントの実施
- ④福祉に対する啓発
- ⑤商店街での福祉作業所等製品の販売協力
- ⑥障がい者の自助グループの支援



「ふくふく」の位置図

(4) イベント

- ①「ふくふく」オープニングイベント（10月30日）
- ②フラワーアレンジメント教室（12月15日）
テーマ：「クリスマスリースを作ろう」
参加者：5名（障害者手帳保持者2名）
- ③周南冬のツリーまつり（12月30日）
徳山商工会議所が主催する大規模なお祭りである。ふくふくとしても祭りに参加し、出店を出したり、ピラ配りなどを行なった。
- ④フラワーアレンジメント教室（1月26日）
テーマ：「お雛様を飾ろう」
参加者：7名（障害者手帳保持者3名）
- ⑤フラワーアレンジメント教室（2月21日）
テーマ：「春の花のバスケット」
参加者：8名（障害者手帳保持者2名）
- ⑥フラワーアレンジメント教室（3月23日）
テーマ：「カーネーションを使って」
参加者：9名（障害者手帳保持者4名）
- ⑦さくらまつり（3月26日）



フラワーアレンジメント教室のチラシ

徳山商店連合協同組合が主催するおまつりである。SLを走らせ子供を楽しませ、屋台やゲームなどのイベントがある。ふくふくも出店などで参加している。

（５）今後の事業展開

今後は、商店街の中で役割を明確にしながら、新たな事業を展開していく。具体的には、福祉・ユニバーサルデザイン用品の普及と商店街での販売協力を進めていくとともに、関係機関の協力を得て、気軽に健康等の相談ができる窓口の開設など、営業日数を拡大して事業の展開していく。

【 効 果 】

1. 来街者の行動

周南市では初めての商店街空き店舗を活用したコミュニティ施設であり、施設利用による来街者が増えるとともに、福祉への意識喚起にも繋がっている。

2. 近隣個店への波及

施設運営のために食材仕入れや事務用品の調達等、商店街の個店にこれまでなかった新たな取引が生まれ購買に繋がっている。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. 事業の合意形成

福祉コミュニティ施設を商店街に設置し事業継続していくことについて、商店街・県市の関係部署（特に福祉部署）・関係団体等のコンセンサス、緊密な連携をもつことが課題である。

2. 事業費の確保

現在賃貸契約している店舗が家賃月額10万円であり、補助が少なくなった場合様々な収益源確保をしておかないと継続が難しい状況である。単市補助をしてもらうための実績作りが必要である。

3. 人材の確保

運営主体が安定した運営を実施する上でボランティアが不足している。現在は18人の会員が交代で週3日の開所日に勤務している。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

事業を運営委託しているが、委託先のボランティアなど人材が不足している。事業を立ち上げる前に、福祉・医療関係者と連携をとり、関っていただける人材を確保しておく必要がある。また、事業の認知度が低く、市民・商店街への継続的なPRが不可欠である。

【 関 連 U R L 】

徳山商工会議所HP <http://www.joho-yamaguchi.or.jp/tcci/>

周南市市民活動センター <http://www.city.shunan.yamaguchi.jp/shiencent/>